



# 小雀公園 里山通信



## Vol.18 生き物や植物に配慮した管理作業



小雀公園では動植物の保護のため、様々な工夫を凝らしています。その工夫が目に見えて実を結ぶ場合もあるし、変化を感じられないときもありますが、日々実験のつもりでめげずに挑戦するしかありません！

最近行った作業その①は、園路沿いの柵作りです。園路脇には色々な野草が生えているのですが、道を外れた人に踏まれないように保護の役割をしてもらいます。この柵は剪定で出た枝ゴミを利用しているので、ゴミの削減にも一役買っています。



作業その②は、落葉樹林内に生える常緑樹の切除です。落葉樹林は季節ごとに変化を楽しめる景観が魅力で、葉の茂る夏でも適度に明るさがあるので、林床には様々な山野草が生え、私たちの目を楽しませてくれるとともに、生息する生き物の種類も増える可能性があります。でも手入れをしないと常緑樹が入り込み、やがては暗い常緑樹林へと移り替わってしまいます。常緑樹林を好む動植物もあるので、それはそれでいいのですが、公園全体が常緑樹林だけになってしまうと変化がなくてつまらない環境になってしまいます。そこで本来はコナラがメインの落葉樹林にワサワサと生えてきてしまった実生のシラカシと、ウグイスの好む環境用にと茂らせていた笹を更新するために刈り取りを行いました。大きめのシラカシはもう少し暖かくなってから切って、萌芽更新させたいなと思っています。どんな変化が見られるか、楽しみですね！



小雀公園 ☎045-853-1945  
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>  
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

